

信州理科教育研究会

戻る

松本支部活動報告

「理科実験講習会」 (平成27年1月31日)

「山のスペシャリストに学びながら乗鞍高原でキノコ採り！！」 (平成26年9月28日)

「松本美ヶ原少年の家宿泊講習会」 (平成26年8月30日、31日)

法政大学教授 左巻健男先生をお迎えし、恒例の宿泊講習会が行われました。例年のように先生の楽しいお話と実験とともに、今年は炊事棟のかまどを使って、大規模な「ドラム缶つぶし」の実験も体験させていただきました。



「東京方面科学館めぐり研修会」

(平成26年8月10日、11日)

「感動！ 実感！ そして楽しくリフレッシュ！」という目標の下「東芝未来科学館」「東京都現代美術館」「幕張メッセ SPACE EXPO 2014」を会場に、宇宙開発・科学技術発展の歴史にかかわる研修会を行いました。



平成26年度発足会 第1回研究会 (平成26年5月15日)

本年度の発足会（第1回研究会）が松島中学校にて行われました。本年度の事業計画、役員について確認した後に、各委員会ごとに打ち合わせ会を行いました。

本年度も研究会、講習会などのお知らせを、このホームページからも発信していきたいと思えます。

「松本美ヶ原少年の家宿泊講習会」

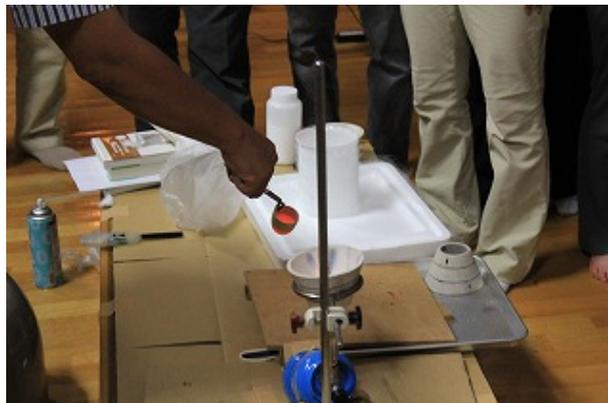
(平成25年8月31日、9月1日)

市街地との気温差約5℃。時折肌寒さも感じ、秋風の香る美ヶ原少年自然の家で、今年も「アツイ」宿泊研修会が行われました。講師はお馴染み法政大学教授左巻健男先生です。

ご自身の教員としての経験と最新の理科教育事情についてユーモアたっぷりの「左巻節」にのせて語っていただくと共に、「マッフル炉を使った塩化ナトリウムの融解実験」「液体窒素を使った極低温の実験」等々より専門的な内容の濃い実験をご指導いただきました。夜はもちろん伝統のバーベキュー&スイカ耐

熱く語り合い、とても実り多い研修会となりました。





行こう行こう火の山へ！ 活火山島「伊豆大島」宿泊研修会

(平成25年8

月7日～9日)

「伊豆大島」といえば、活火山「三原山」の噴火によってできた火山島です。「三原山」は、日本では珍しい楕状火山としても知られています。伊豆大島の自然や文化に精通した方々の参加とご協力を得て、本研修会が実現しました。

(写真他詳細は後日お知らせします。)

平成25年度発足会 第1回研究会

(平成25年5月16日)

本年度第1回目の研究会（発足会）が本郷小学校理科室にて行われました。

2年目になる「わくわく研修会」では、伊豆大島への宿泊研修会を予定しているそうです。本年度も充実した同好会活動になることと思います。



研修会などの様子は、随時お知らせしていきたいと思えます。

【感じ、考え、実感する、命の授業へ】
「ニホンジカの解体」体験研修会
(平成24年11月11日)



里山と呼ばれる身近な山林の荒廃や耕作放棄地の増加などによってシカやイノシシなどの生息数が急増し、それらの動物が人里近くにまで現れて農作物を荒らしたり、或いは生態系の変化が懸念されたりしています。

特にシカの食害は里山ばかりで無く植林地から原生林、高山帯の植生も破壊しかねない勢いだといわれます。

現在の状況を招いたのは人間であったとしても、すでに絶滅したオオカミといった天敵によるセルフコントロールを失った日本の自然界では、人間がこれをコントロールするしかない状況です。

昨今では、生態系の頂点にあるツキノウグマも含めて大型の動物が有害鳥獣として毎年相当数駆除されています。人間によってバランスを崩してしまった自然環境と私達の生活環境を守るための有害鳥獣駆除は地域猟友会の方々のボランティア的な活動によってなされていますが、その大変な現場に立ち会う機会はほとんど無いことと思います。

また、狩猟や野生動物を捕って食べることで生活にそぐわなくなっている現社会では、駆除された動物達を廃棄物として処理するしかなく、北海道や神奈川、長野等の自治体では、巨額を注ぎ込んで鹿専用の焼却炉をつくる所もあるようです。最近では、ジビエ料理と称してシカやイノシシなどを食肉として活用していこうという流れもありますが、野生の獣を仕留め、血抜きをし、山から運び出し、解体し、食用部位と食肉部を切り分け、皮や骨、頭部は処分し・・・といった過程は、省略されて伝達され、あたかもグルメ料理的に扱われている向きも感じます。もちろん、廃棄処理されることを考えれば、食べて命をいただく方が余程よいのですが、我々理科教師としては、生態系危機の現状や駆除された鳥獣がどのように処理されているのかを生に触れておくことは必要だと思います。

このたび、松塩筑猟友会本郷支部のご協力を得て「ニホンジカの解体」体験研修会を計画しました。有害鳥獣として駆除されたニホンジカを提供いただき、解体、精肉までを体験していただきたいと思います。理科教師として、大型ほ乳類の体の仕組みを知る機会として、命を頂く食育の実践の場として、このたびの研修会に理科の先生方の他にも大勢の先生方にご参加いただけましたことに感謝いたします。

・・（講習テキストより）・・

松島中学校理科室でニホンジカ解体体験講習会が行われました。上にもありますように、教科の枠を超え、20名以上の松塩筑の先生方が熱心に研修をされました。

臓器、骨格などについても一生懸命記録されている先生方がいらっしゃいました。今後各校の理科室で先生方の研修の成果が「自作教材」という形で生徒たちの学びに活かされることと思います。

「松本美ヶ原少年の家宿泊講習会」 (平成24年8月25日、26日)



法政大学教授の左巻健男先生をお迎えし、恒例の美ヶ原少年の家宿泊講習会がおこなわれました。

元素のお話、探求心に火がつく実験、スイカ耐・・・本年度も大変実り多き研修会となりました。



行こう行こう火の山へ！ 活火山「焼岳」登山臨地講習会 (平成24年8月11日)

「焼岳」はその活発な火山活動により、近年まで登山制限がされてきましたが、現在では、登山道も整備され一般登山が可能になっています。「焼岳」は深田久弥の日本百名山にも数えられ、活火山という理科教材的な魅力に加え、火山ならではの山容や眺望のすばらしさも備えています。



「放射能測定講習会」於：アイメジャー信州放射能ラボ iSHL (平成24年7月7日)

一ノ瀬修一氏により、放射線と放射能の違いといった基本的な内容から、最近よく聞くようになった、ベクレル、シーベルトといった数値の意味や測定の原理、測定方法について講義をしていただきました。また、放射線がなぜ人体に有害であるかを、放射線のもつ高いエネルギーとそれが人体に照射されたときの影響について、放射線の種類と遮蔽、外部被曝と内部被曝の違いなどの説明もしていただきました。並行して、放射線および放射能の測定実習を体験しました。特に食品放射能の測定は、県内でも随一の高性能高精度の測定機器を用いた実習を体験できました。この講習会を通して、理科教師として放射線、放射能についての正しい知識を持つことの大切さを改めて認識できました。また、理科学習を含めた学校現場のみならず、日常生活でも放射線、放射能について考えたり、触れたりしていく際には、情報収集と情報分析に正しい知識や情報に裏打ちされた主体的な判断が求められることを実感しまし



た。

平成24年度 第1回研究会 (平成24年5月17日)

本年度第1回目の研究会(発足会)が本郷小学校にて行われました。新たな会員の先生もお迎えし、やや緊張した雰囲気での自己紹介、役員承認と運営計画の発表・・・例年のように議事が進行しましたが、当日が金環日食の直前だったこともあり、日食観察の話題でも大いに盛り上がりました。

本年度は講習・講演委員会が新たに「わくわく研修会」を計画しています。例年以上に充実した同好会活動になることと思います。



平成23年度 実験講習会 (平成24年1月28日)

塩尻市立丘中学校で実験講習会が開催され、松塩筑の多くの先生方が参加されました。今回も會田先生には魅力的な実験を数多くご用意いただきました。

松本理研会誌第29号に当日の様子、実験の資料が掲載されています。そちらもご覧ください。



平成23年度 松本美ヶ原少年の家 夏期宿泊研修会 (平成23年9月3日、4日)

予定されていましたが本年度の夏期宿泊研修会は、台風接近のため、残念ながら中止となりました。

平成23年度 第1回研究会 (平成23年6月6日)

本年度第1回目の研究会(発足会)が寿小学校にて行われました。

平成22年度 実験講習会 (平成23年1月29日)

夏の宿泊講習会に引き続き、會田良三先生をお招きして、塩尻市立丘中学校で実験講習会が行われました。液体窒素を始めとした魅力実験の数々に参加者一同目を輝かせながら取り組むことができました。是非明日からの授業に生かしていきたいと思ひます。

平成22年度 松本美ヶ原少年の家 夏期宿泊研修会 (平成22年9月4日、5日)

本年度も會田良三先生を講師にお迎えして、松塩筑合同の

「美ヶ原少年の家宿泊講習会」が行われました。

9月に入ったとはいえ、市街地では厳しい残暑が続いていました。しかし、会場的美ヶ原少年の家はとても快適で、時折窓から吹き込むさわやかな高原の風を感じつつ、参加者の先生方は會田先生が用意して下さった、魅力的な「実験」「ものづくり」に熱心に取り組んでいました。

恒例の夕食懇親会も、楽しく語り合う先生方の姿がたくさん見られました。

初めて参加された先生から、毎年欠かさず参加しているという先生まで、非常に有意義な2日間を過ごすことができました。

年が明けた1月にも、実験講習会が予定されています。どうぞご期待ください。



平成22年度 第1回研究会 (平成22年6月2日)

本年度第1回目の研究会(発足会)が丸の内中学校図書館にて行われました。

平成21年度 松本美ヶ原少年の家 宿泊講習会 (平成21年8月22日、23日)

例年実施されております松本・塩筑合同の宿泊講習会が8月22日・23日の両日、美ヶ原少年自然の家にて開催されました。講師には、以下の先生をお迎えし、有意義な研修が行われました。

◎講師 會田良三先生 (世田谷区教育センター)

以下は、研修の様子です。



🔍 コンパクトデジカメを使って顕微鏡撮影です。結構簡単にボルボックスやツユクサの葉の気孔を撮影出来ました。



🔍 続いて、液体窒素の実験。お約束のバナナで釘を打つことや、電気抵抗を冷やして電球の明るさの変化の観察。最後は超電導物質を使って磁石を浮遊させる実験を行いました！



🔍 マグネシウムの燃焼や鉄の自然発火など、視覚的に生徒の興味関心が高まる実験あれこれ。行っている先生の方が楽しそうでした(笑)。



🔍 恒例の夕食は恒例の焼肉→焼きそばのコンビネーション！會田先生との話も弾みます。今年は冷夏のせい、飛んで来る虫が少なかったです

ね。



🔍 夕食の後も実験は続きます。今度は手品感覚の実験のオンパレード（左の写真は宴会芸ではありません。ベルヌーイ効果を利用した実験です）。人工イクラや燃える水など。

大根の酵素を使ったルミノール反応はとてもキレイでした！



🔍 1日目の締めくくりは名物(?)のスイカ酎を頂きながら、語り合っ親睦を深めました～

■上へ

信州理研 松本支部